

寒波救済基金への寄付



ヒューストン日本商工会では、今年2月に来襲した大寒波もたらした膨大な被害により困窮する当地のコミュニティーを支援するべく、会員企業及び会員個人を対象に募金活動を行い、地元団体が設立した救済基金に対し寄付を実施いたしました。ご賛同いただきました皆様には厚く御礼申し上げますと共に、ここにご報告申し上げます。

2月に米国南部を襲った歴史的な大寒波による被害を受けて、商工会では特別理事委員会と常任委員会の決議により、ターナー市長とヒダルゴ郡長官が推奨するHouston Harris County Winter Storm Relief Fundへ総額27,000ドルの寄付を実施しました。会員企業と会員個人を対象に募金活動を展開しましたところ、当初の目標額である25,000ドルを上回る額を29社と2名の皆様よりご寄付いただく結果となりました。皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

4月1日には、市庁舎に福島総領事、相澤会長、名川特命理事が訪問し、オルソン国際部長に市長への書簡を手渡し、甚大な被害を受けた方々にお見舞いを申し上げるとともに、ワクチン普及によるCOVID-19感染の抑え込みや今回の寒波被害者救済の取り組みにおいて、市長を始めとするリーダーシップに対し、あらためて日本コミュニティーを代表して御礼を申し上げます。一方、オルソン国際部長からは市を代表して、当会の地域貢献に対する謝意とともに、来春の市長による日本訪問やテキサス高速鉄道プロジェクトの実現に向けて今後の展開や日本企業による継続的な投資に期待する旨、前向きなお言葉をいただきました。

(理事委員一同)



左から、名川特命理事、福島総領事、オルソン国際部長、相澤会長

バーチャルウォーキング大会始まる！ 全35チーム、総勢349人が参加。勝利は誰の手に？



商工会主催のバーチャルウォーキング大会が5月1日午前10時にスタートしました。参加者は全35チーム、計349人。優勝を目指してガンガン歩こうというチームからのんびりマイペースで散歩したいというチームまで、個性あふれる顔ぶれです。各チームの構成やコメントはP4-5をご覧ください。初日から平均1万歩を超すチームが現れるなど早速熾烈なトップ争いが始まっていますが、どのチームが栄光を手にするのか、5月31日まで1ヶ月間続くレースの展開から目が離せません。

このイベントを大いに楽しみ盛り上げるべく私たちガルフストリーム編集部も、総領事館や商工会事務局などのメンバーとの連合チーム「アルマジローズ」を結成。5月2日には早速、Bayou沿いのTerry Hershey Trailを歩いてきました。前日まで雨が続きどうなることかと心配しましたが、当日は快晴で絶好のハイキング日和になりました。初夏の陽気の中1時間半ほど歩くとも身体はすっかりボカボカ、というより汗だく。これから気温がますます高くなりますので、ウォーキング時の水分・塩分補給はお忘れなく。ウォーキング前後のストレッチについては先月号P6の「ポイントレッスン」をご覧ください。

また今月号P5では私たちが歩いた Terry Hershey Trail をはじめとするヒューストン市内のおすすめトレイルを特集しています。いよいよ後半戦、今からでも充分巻き返しは可能です。ラストスパートをかけ、順位アップを狙いましょう。